

令和3年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年2月10日

上場会社名 株式会社ナガホリ 上場取引所 東
 コード番号 8139 URL http://www.nagahori.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀 慶太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吾郷 雅文 TEL 03-3832-8266
 四半期報告書提出予定日 令和3年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績（令和2年4月1日～令和2年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	12,093	△25.7	△82	—	△115	—	△338	—
2年3月期第3四半期	16,279	5.3	219	323.9	193	317.8	64	—

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 △322百万円 (—%) 2年3月期第3四半期 71百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	△22.05	—
2年3月期第3四半期	4.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期第3四半期	24,636	11,895	48.3	775.67
2年3月期	24,099	12,294	51.0	801.70

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 11,895百万円 2年3月期 12,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
3年3月期	—	0.00	—	—	—
3年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和3年3月期の連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	△22.7	△250	—	△300	—	△500	—	△32.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年3月期3Q	16,773,376株	2年3月期	16,773,376株
② 期末自己株式数	3年3月期3Q	1,437,819株	2年3月期	1,437,819株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年3月期3Q	15,335,557株	2年3月期3Q	15,335,564株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の深刻な影響を受け、GDP成長率は4～6月期に戦後最大のマイナス成長を記録し、その後は回復基調にあるものの、依然新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を下回っております。個人消費も緊急事態宣言の解除に伴う経済活動の再開に加え、政策効果やマインドの改善により緩やかな拡大傾向にある一方で、外出自粛の動きは根強く、先行き不透明な状況が続いております。また、欧米各国でも感染が再拡大し、世界経済の先行き不透明感は依然として強く、経済活動へのマイナス影響は長期化することが想定されます。

ジュエリー業界におきましても、新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言によるかつてない販売減少の後、販売店舗の営業や販売催事が再開され徐々に回復に向かいましたが、新規感染者数は第3波とも言われる局面に入り、消費行動の自粛傾向や雇用・所得環境の悪化懸念など、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、緊急事態宣言が解除された後、感染症対策への対応を施した環境での自社催事や顧客催事等の販売活動を徐々に再開しました。しかしながら、緊急事態宣言の影響による販売減少が大きく、当該宣言解除後は回復に向かいましたが前年を下回る結果となりました。また、財務の安定のためコミットメントライン契約締結による財務基盤強化、仕入削減による在庫減少や経費支出のコントロール等とともに、インターネット販売等のITツールを活用した営業体制を強化し、自社ブランドの販売促進等にも取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は120億93百万円（前年同期比25.7%減少）、営業損失82百万円（前年同期 営業利益2億19百万円）、経常損失1億15百万円（前年同期 経常利益1億93百万円）となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により発生しました休業手当等に対する助成金収入3億36百万円を特別利益に、店舗等の臨時休業や営業時間の短縮等を行ったことに伴い発生しました休業手当等の人件費や減価償却費等の固定費4億12百万円を新型コロナウイルス感染症対応による損失として特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失3億38百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益64百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

宝飾事業の売上高は119億99百万円（前年同期比25.9%減少）、セグメント損失は1億30百万円（前年同期 セグメント利益1億74百万円）、貸ビル事業の売上高（外部顧客）は58百万円（同11.4%増加）、セグメント利益は31百万円（同17.8%増加）、太陽光発電事業の売上高は35百万円（同5.3%減少）、セグメント利益は17百万円（同9.6%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は246億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億36百万円の増加となりました。

流動資産は175億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億4百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が4億84百万円、受取手形及び売掛金が6億92百万円それぞれ増加した一方、商品及び製品が6億86百万円減少したことによります。

固定資産は71億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産が88百万円減少したことによります。

(負債)

負債は127億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億35百万円の増加となりました。

流動負債は109億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3億76百万円、短期借入金が4億12百万円それぞれ増加したことによります。

固定負債は18億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億34百万円の増加となりました。これは主に長期借入金が1億13百万円増加したことによります。

(純資産)

純資産は118億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億99百万円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失3億38百万円の発生、剰余金の配当76百万円によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、令和2年11月6日発表の業績予想からの変更はございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であることから、今後の感染拡大や緊急事態宣言発令等の状況によっては、連結業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,232,942	2,717,649
受取手形及び売掛金	2,710,482	3,403,209
商品及び製品	10,819,189	10,132,527
仕掛品	263,552	291,441
原材料及び貯蔵品	773,928	739,313
その他	137,520	258,364
貸倒引当金	△28,820	△28,813
流動資産合計	16,908,795	17,513,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,645,014	1,576,457
機械装置及び運搬具(純額)	221,102	208,526
土地	3,336,468	3,336,468
その他(純額)	332,202	325,288
有形固定資産合計	5,534,788	5,446,741
無形固定資産	53,469	43,396
投資その他の資産		
投資有価証券	655,504	673,753
長期貸付金	20,385	20,037
繰延税金資産	126,224	124,243
その他	968,078	1,036,264
貸倒引当金	△167,273	△221,379
投資その他の資産合計	1,602,919	1,632,919
固定資産合計	7,191,177	7,123,057
資産合計	24,099,973	24,636,749

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	976,440	1,353,121
短期借入金	7,998,000	8,410,000
1年内返済予定の長期借入金	565,504	565,504
未払法人税等	105,026	48,026
賞与引当金	73,296	33,756
役員賞与引当金	3,500	3,150
その他	397,374	507,045
流動負債合計	10,119,142	10,920,604
固定負債		
長期借入金	593,888	707,260
退職給付に係る負債	624,881	627,415
役員退職慰労引当金	172,710	203,416
繰延税金負債	—	211
再評価に係る繰延税金負債	48,841	48,841
その他	246,028	233,639
固定負債合計	1,686,350	1,820,783
負債合計	11,805,492	12,741,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	2,074,332	1,659,448
自己株式	△481,425	△481,425
株主資本合計	13,192,045	12,777,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△59,263	△43,502
土地再評価差額金	△853,614	△853,614
為替換算調整勘定	15,312	15,315
その他の包括利益累計額合計	△897,564	△881,801
純資産合計	12,294,480	11,895,361
負債純資産合計	24,099,973	24,636,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
売上高	16,279,951	12,093,821
売上原価	11,767,726	8,857,866
売上総利益	4,512,224	3,235,955
販売費及び一般管理費	4,292,592	3,318,015
営業利益又は営業損失(△)	219,632	△82,059
営業外収益		
受取利息	238	142
受取配当金	21,072	19,988
為替差益	7,435	317
保険返戻金	3,413	4,182
その他	11,918	12,403
営業外収益合計	44,077	37,033
営業外費用		
支払利息	66,775	64,814
その他	3,761	5,166
営業外費用合計	70,536	69,980
経常利益又は経常損失(△)	193,173	△115,006
特別利益		
助成金収入	—	336,704
特別利益合計	—	336,704
特別損失		
固定資産処分損	32	2,428
貸倒引当金繰入額	25,764	54,311
新型コロナウイルス対応による損失	—	412,344
特別損失合計	25,797	469,084
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	167,375	△247,386
法人税、住民税及び事業税	108,600	88,838
法人税等調整額	△6,089	1,981
法人税等合計	102,510	90,819
四半期純利益又は四半期純損失(△)	64,865	△338,205
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	64,865	△338,205

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	64,865	△338,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,802	15,760
為替換算調整勘定	△28	3
その他の包括利益合計	6,773	15,763
四半期包括利益	71,638	△322,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,638	△322,442
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	太陽光発電 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,189,920	52,606	37,424	16,279,951	—	16,279,951
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	12,885	—	12,885	△12,885	—
計	16,189,920	65,491	37,424	16,292,836	△12,885	16,279,951
セグメント利益	174,202	26,499	18,930	219,632	—	219,632

(注) 1.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	太陽光発電 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,999,780	58,603	35,437	12,093,821	—	12,093,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,589	—	10,589	△10,589	—
計	11,999,780	69,193	35,437	12,104,410	△10,589	12,093,821
セグメント利益又は 損失(△)	△130,401	31,227	17,113	△82,059	—	△82,059

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。